


目次

1 価値創造の軌跡 P.4	2 持続的な成長に向けて P.12	3 新経営方針 Forging the future P.22	4 ESGの強化 P.49	5 財務・非財務情報 P.84
5 競争力の源泉となる技術の変遷 7 ポートフォリオ改革の軌跡 9 価値創造を支える3分野 10 2021年度活動報告	13 社長メッセージ 20 価値創造モデル	23 新経営方針 「Forging the future 未来を拓く」 30 CFOメッセージ 事業トップメッセージ 33 PC/MMA 34 AS 35 石化/炭素 36 ファーマ 37 産業ガス	Governance 50 ガバナンス・リーガル担当役員 メッセージ 51 コーポレートガバナンス 62 社外取締役メッセージ 63 取締役一覧 65 リスク管理 68 コンプライアンス	分野別事業概況 85 サマリー 87 ■機能商品分野 90 ■素材分野 92 ■ヘルスケア分野
 <p>社長メッセージ</p> <p>「One Company, One Team」で グローバル市場に挑み、 企業価値のさらなる向上へ 全力で取り組みます</p> <p>代表執行役社長 ジョンマーク・ギルソン</p> <p>P.13</p>		Innovation 39 CTOメッセージ 40 研究開発 43 コーポレートベンチャー活動	Sustainability 69 サステナビリティ担当役員メッセージ 70 サステナビリティ推進 71 サステナビリティ指標 75 サーキュラーエコノミーの推進 76 LCAの先進的な活用に向けて 77 TCFD提言に基づく報告	94 財務サマリー 95 財務ハイライト 97 非財務ハイライト 99 株主情報 101 連結財務諸表 107 非財務情報 <ul style="list-style-type: none"> ●環境性データ/社会性データ ●独立した第三者保証報告書
新経営方針	Forging the future 未来を拓く 企業価値最大化に向けた「選択と集中」 P.23	44 CDOメッセージ 45 DXの推進 48 チーフストラテジーオフィサー メッセージ	人材 80 CHROメッセージ 81 人材戦略 83 働きやすい環境の整備	

編集方針

編集方針

三菱ケミカルグループ(株)は、当社グループのビジョンであるKAITEKI実現に向けた企業活動の進捗や見通しのうち、企業活動の判断基準やマテリアリティの特定結果に照らして重要性が高いと考える事項に基づき、過去・現在・未来の財務情報と非財務情報を価値創造ストーリーとして統合的にわかりやすくまとめた統合報告書「KAITEKIレポート」を発行しています。作成にあたっては、国際統合報告評議会の「国際統合報告フレームワーク」を参照しています。

より詳細な情報は、当社のウェブサイトにて報告していますので、併せてご覧ください。また、詳細な財務情報については、金融庁に提出した有価証券報告書にて、詳細なガバナンス情報については、東京証券取引所に提出したコーポレートガバナンス報告書にてそれぞれご覧いただけます。

社名表記について

本報告書では、以下のルールで社名を記載しています。

三菱ケミカルグループ株式会社単体を指す場合

「三菱ケミカルグループ(株)」、もしくは「MCG」、「当社」

三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社を総称する場合

「三菱ケミカルグループ」、「もしくは「MCGグループ」、「当社グループ」

情報開示体系



報告対象期間

2021年度(2021年4月-2022年3月)、一部2022年度の内容も含んでいます。

報告範囲

当社および当社グループを報告範囲としています。報告範囲が異なる事項については、対象となる報告範囲を明記しています。

会計基準

当社は、2017年3月期の第1四半期より指定国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。本レポートでの2017年3月期以降はIFRSに基づき、その他数値は、特に記載がない限り日本基準に基づくものです。

インタラクティブPDFの使い方

